

	分類	保健所ヒアリング等で分かった問題点	チェックリスト項目の候補	好事例
学生寮	マスク	寮内でマスクをしていなかった	寮内ではマスクを着用している	食堂や風呂は、部ごとの入れ替え制をとり、脱衣所などでは話さないようポスター掲示をおこなった
	換気	多人数部屋の部屋で換気が不十分（収納が少なく学生の荷物であふれかえっている居室で窓に洗濯ものがかかっているなど）	居室内の換気を定期的に行っている 例）居室内が整理されており、窓やドア周辺に空気の通り道が確保されている。	
	手指衛生	居室内に手洗い場がない	寮内に手指消毒ができる環境が整えられている （手指消毒剤の設置や手洗い場に石鹸が設置されているなど）	
	手指衛生	手指消毒剤を寮内に設置しているが、その管理を誰もしておらず、使用されているかもわからない	寮内に設置している手指消毒薬の使用量の確認やポンプの清掃が定期的に行われ管理されている	
	管理体制	寮の管理者がいない	寮内での責任者や寮監、もしくは学生の担当者が指名され、健康管理や寮内の環境整備等の担当が決まっている	
	管理体制		寮内で陽性者が発生した場合の連絡先、対応者が決まっており、周知されている	寮のフロアごとにフロアリーダーが任命され、健康管理が行われている
	管理体制			大学医務室医師、看護師が中心となって陽性者発生後の対応をしている
	管理体制		寮生の毎日の健康チェックを行う学生が指名され、管理されている	寮内のホワイトボードにその週の健康管理担当者名が記載され、寮生がわかるようになっている
	管理体制		寮生の健康に関する相談窓口が設けられている	
	管理体制	大学窓口が寮の実態を把握できていない	寮内で陽性者が発生した場合、大学へも情報共有がされる体制がとられている	生徒1人でも陽性者が発生したら全員にPCR検査を実施する
	管理体制	4年生の意見が絶対で教職員の指導が寮内にとどいていなかった	新型コロナウイルス感染症に対する最新の知識がブラッシュアップされ、教職員、生徒が適切な感染予防行動をとることができる	保健所と協力し学生自身のコロナに関する知識の向上を図っている
	管理体制	清掃は業者が行っているが、どこをどのように清掃しているかを誰も知らなかった		
	環境整備	寮内に有症状者を隔離するような居室がない	寮内で陽性者が発生した場合に備え、空室を用意している	

	分類	保健所ヒアリング等で分かった問題点	チェックリスト項目の候補	好事例
部活動	マスク	練習に取り組んでいるとき以外（休憩時間や他学生の競技を見ている時等）にマスク無で話す、同じ飲み物を回し飲みするなど感染予防策を行っていなかった	練習中以外の場面ではマスクを装着し、給水時は会話をしていない	
	手指衛生		練習会場に手指消毒薬の設置、手洗いができる環境がある	
	管理体制	学生が体調不良出現時に誰に相談すればよいのかわからなかった	部員が体調不良時に相談できる窓口がある	部員の健康チェックをマネージャーが中心となって行っていた
	管理体制		部活動内で体調不良者が発生した場合の連絡網が学生に周知されている	
	管理体制	部活動顧問やコーチの感染予防策に関する考え方が、標準的なものとは異なっていた（競技のリーグ資料などに従って活動し、保健所の意見が受け入れられなかった）	新型コロナウイルス感染症に対する最新の知識がブラッシュアップされ、教職員、生徒が適切な感染予防行動をとることができる	
	管理体制	濃厚接触者とされた学生の反発が強く、行動制限を順守してもらえなかった		
	管理体制	大学側は部活動顧問やコーチに一任しているといい、状況を把握できていない	部活動内で発生した陽性者に関する情報は大学と共有している	感染状況に合わせて大学で方針を決定し、その内容が生徒へ示されていた
	管理体制	部活内で複数名陽性者が発生していても大学が把握していない	学内で発生した陽性者の情報が部活動顧問やコーチにも情報共有され注意喚起が図られている	
	管理体制	熱中症と判断し対応していた		
	管理体制	複数名風邪様の症状を呈していたが、夏風邪だと思いそのままにした		
	管理体制	相撲部では1時間以上かけて食事を摂っていた		
	管理体制	トレーニング物品等の消毒方法が誤っていた（次亜塩素酸ナトリウム液の入ったバケツで雑巾を絞り器具を消毒する。繰り返し使用し、交換頻度等不明）ため、適切な方法を指導したが、「学生にようやく浸透したところだった」という理由で保健所の指導が受け入れられなかった	使用トレーニング機材や使用物品を使用者ごとに適切な薬剤、方法で消毒できる	
	管理体制	複数人で食事会やカラオケへ行っていた		
	管理体制	練習場面を管理している者がいない	部活動単位での健康管理者（部員の健康チェックや感染対策の実施）を設置し任命している	
	管理体制			基本的な感染予防策（マスクの装着、手指消毒、密集を避ける）に加え、大会前2週間は特に注意を払い、学生への注意喚起を行っていた
管理体制		陽性者発生時の大会参加や部活動継続等の対応を平時より大学側と話し合い、方針が決められている		
環境整備	遠征のため、マイクロバスにて長距離を移動した		遠征等のバス移動の際には座席表を作り、2人席に1人着席できるようにし、窓を開け換気の徹底と常にマスクを装着していた	